

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

| | | | |
|------------------------------------|---|---|-------------------|
| 【研究課題名】 | 副鼻腔癌切除再建後の形態及び機能に関する縦断的調査 | | |
| 1. 研究の目的と方法 | 上顎癌切除後の再建方法は初期に骨移植を行う方法や行わない方法など様々あります。一期的な骨移植は患者様のQOL（生活の質）を向上しその後の機能、整容目的の修正手術を行う回数が減ると言われています。一方で一期的な骨移植は感染のリスクを上昇するとの見解もあります。今回後方的観察研究を行うことで、どのような一期的な上顎再建を行った場合に、その後の合併症回避、機能維持、整容維持が可能であるかを明らかにします。 | | |
| 2. 研究期間 | 倫理委員会承諾日～2024年9月29日まで | | |
| 3. 対象となる方等 | 2008年1月1日～2022年12月31日までの期間に東京慈恵会医科大学大学本院・柏病院において副鼻腔癌で上顎全摘出術を受けた全患者様 | | |
| 4. 研究に利用する試料・情報について | (1) 試料の種類 | 試料は使用しません。 | |
| | (2) 試料の取得の方法 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (3) 情報の種類 | 診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査） | |
| | (4) 情報の取得の方法 | 後合併症の有無、入院期間、退院日、ICU 滞在期間、気管切開の有無、気管切開の閉鎖日、入院期間中の創部感染の有無、血液検査:血算、肝機能、腎機能、術後患者基本情報:再発の有無、化学療法の有無、放射線治療の有無、二期的手術の回数、内容、手術時期、放射線治療の有無、術後臨床写真、術前後 CT 画像評価、眼球運動、眼位の差、鼻腔内の状態（内視鏡所見） | |
| 5. 研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1) 研究責任者 または研究 代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 |
| | | 氏名 | 石田 勝大 |
| | (2) 当施設の長 | 東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥 | |
| | (3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者 | (1)の研究責任者と同じ | |
| (4) 共同で研究 を実施する 機関とその 責任者 | なし | | |

| | |
|---------------------------|--|
| 6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2022年7月頃～ |
| 【問い合わせ先】 | 機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：准教授 石田 勝大（いしだ かつひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3481） 対応時間：09：00 ～ 15：00 |

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。